



未来のために、いま選ぼう。

気候変動の影響への 適応に関するセミナー

※要申込
定員
100名

～変化する気候に北海道が適応していくには～

2017年12月8日(金)

13:30～16:30

とがち館 金枝の間

(帯広市西7条南6丁目2番地)

入場無料

中津川 誠氏

室蘭工業大学大学院工学研究科
くらし環境系領域 社会基盤グループ教授

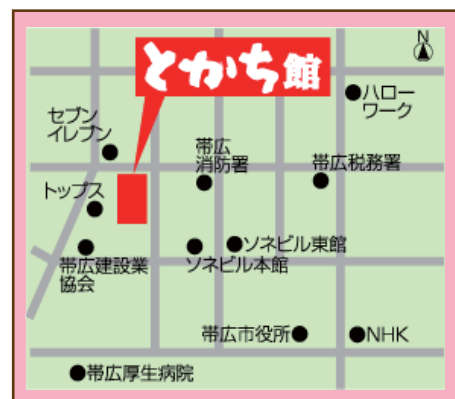
講演題：北海道で考えるべき
大規模水害に対する適応策



廣田 知良氏

農研機構 北海道農業研究センター
生産環境研究領域 グループ長

講演題：北海道で今、起きている
気候変動と農業における適応策



※帯広駅よりバス(約10分)
☆2・7・10・17・31・36系統で
「厚生病院前」下車1分
☆36系統で「問屋町6丁目」下車

気候変動の影響の「緩和」とは？

私たちは日々の暮らしの中で温室効果ガスを大量に排出しており、地球温暖化やそれに伴う気候変動が、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力(緩和)をしていくことが求められます。

影響への「適応」とは？

緩和を実施しても温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことが、適応です。

主催 環境省北海道地方環境事務所、北海道、(公財)北海道環境財団(北海道地球温暖化防止活動推進センター)
事務局/申込先 日本エヌ・ユー・エス株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿木村屋ビル5階
TEL:03-5925-6740 FAX:03-5925-6745
E-Mail: adaptation-hokkaido@janus.co.jp (担当:橋爪、仲川)
(E-Mail、FAX またはお電話にて、参加日付・所属・氏名・連絡先をお伝えください。)

講師プロフィール



中津川 誠：室蘭工業大学大学院工学研究科 暮らし環境系領域 教授

国土交通省勤務を経て、2007年より室蘭工業大学で河川工学や水循環の研究や教育に従事。大雨時の河川水位の予測、地球温暖化が雨や雪の降り方に与える影響と対策などについて研究している。2016年8月に北海道で発生した大洪水に対しては土木学会調査団の幹事を務め、調査結果のとりまとめをおこなった。



廣田 知良：農研機構北海道農業研究センター 生産環境研究領域 グループ長

農業気象学を専門とし、寒地での気候変動・温暖化が農業に及ぼす影響と適応策研究を行っている。近年、主に取り組んだものの中には、北海道・十勝地方を対象とした大規模農地でも適用可能な土壌凍結深制御手法の開発と普及（野良イモ対策など）がある。

時間	内容
13:00	受付開始
13:30	開会挨拶
13:35	【講演】 「国の「気候変動の影響への適応計画」について」（仮題） 環境省北海道地方環境事務所 環境対策課 富田 和明氏
	【講演】 「北海道における気候の変化について」 札幌管区气象台 気象防災部 地球環境・海洋課 地球温暖化情報官 服部 博和氏
14:15	休憩
14:25	【講演】 「北海道で考えるべき大規模水害に対する適応策」 室蘭工業大学大学院工学研究科 暮らし環境系領域教授 中津川 誠氏
	【講演】 「北海道で今、起きている気候変動と農業における適応策」 農研機構北海道農業研究センター 生産環境研究領域 グループ長 廣田 知良氏
16:10	質疑応答
16:25	閉会挨拶

※ 会場には無料駐車場があります。満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用下さい。

お申込み用紙 ※切らずにそのままFAXしてください。【12月8日（金）帯広開催】
FAX 03-5925-6745 （申込締切 2017年12月5日（火））

※メールでの申し込みも可能です（アドレスは表面に記載）。メールの場合は、本文に直接以下の必要事項をご記入ください。

氏名（ふりがな）

所属

TEL

FAX

E-mail

定員に達してご参加頂けない場合、事務局よりご連絡をさせていただきます。
ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する事のみ使用します。